

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3970101352
法人名	社会福祉法人 秦ダイヤライフ福祉会
事業所名	グループホーム あざみの家
訪問調査日	平成20年6月11日
評価確定日	平成20年7月25日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。

参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970101352
法人名	社会福祉法人 秦ダイヤライフ福祉会
事業所名	グループホーム あざみの家
所在地 (電話番号)	高知市薮野北町2丁目25番8号 (電話) 088-803-1188

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人代表者は、長年医療、福祉の分野で地域に貢献しており、地域住民の信頼が厚い。認知症や多様な障害を持つ人々が、安心して暮らし続けられることを願い、平成15年12月に開所している。高台に立地するホームは、景観、展望に優れ、環境にも恵まれている。立地場所もさることながら、利用者が安心してゆったりとくつろげる環境であることが、その穏やかな表情からも窺い知ることができる。職員は、開所当初から勤務している者が多く、利用者も継続して入居している人が多い。従って、「一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にする」関係が作られており、これは「分かり合える(学ぶ)こと、支え、支えられる」関係にもつながり、事業所が目指すサービスの根幹である。今後も「ゆっくり・ゆったり」した時間の流れの中で、利用者がくつろぎ、安心して暮らしを継続できるように、地域に密着したグループホームとして一層発展していくことを期待したい。

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年6月11日	評価確定日	平成20年7月25日

【情報提供票より】(平成20年5月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 12 月 28 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤14 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 14 人	

(2) 建物概要

建物形態	併設/ 単独	新築 /改築
建物構造	木造	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000~45,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円	
敷金	有() 円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(5月25日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.8 歳	最低	74 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 福田心臓血管消化器内科	2
---------	------------------	---

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題については、管理者を中心に全職員で内容をチェックし、改善シートを作成して取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は評価の意義を十分理解しており、新たな気づき等について全体会で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5)</p> <p>会議では、事業者から利用者の状況報告、職員体制、職員研修、評価・課題の報告などを行っている。情報交換に終始することが多いため、今後は、単に情報交換のレベルにとどまらず、建設的で積極的な意見や要望を出し合い、より双方向的な会議に進展することを期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族会は年5回開催しており、参加者も多い。家族からは、職員の異動についての相談が多かったため、重点的に検討し、本年度から利用者にも悪影響を及ぼさないよう最小限に留めるように努めている。今後とも、家族の意見・相談などは、サービスの質の向上のための大切な宝と捉え、職員間で共有し、日々の業務に反映させていくことを期待したい。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>法人本部の多目的ホールで毎週行っている「いきいき百歳体操」に多くの地域住民が参加し、また、小規模多機能施設の開設により、地域の人達と交流する場が更に広がっており、顔見知りの住民が多くなっている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 「風通しの良い家」という法人代表者の”想い”を基に、職員が話し合い、決めた事業所独自の理念である。 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 理念をホーム内の目に触れやすい場所に掲示し、月3回のホーム会、月1回の全体会、行事の後、小さな集まり等で話し合い、理念について理解を深め、共有に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 職員は、日々の具体的なケアにおいて、理念とのずれがないか話し合い、声かけや態度等に配慮している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 同じ敷地内にある法人本部が町内会に参加しており、法人本部の多目的ホールを町内会の会合に提供している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 法人本部の多目的ホールで行っている「いきいき百歳体操」には、地域住民の参加者も多く、休日には近隣の子供達も遊びに来るなど交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 職員は評価についての意義を理解しており、職員一人ひとりが新たな「気づき」について全体会で話し合い、自己評価に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回の評価の課題について、内容を検討し、改善シートを作成して、取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>会議では、事業者から利用者の状況報告、職員体制、職員研修、評価・課題の報告などを行い、参加メンバーからも意見は出るが、情報交換に終始することが多い。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>会議では、評価の課題・改善の取り組み、進展などを報告し、メンバーからの意見も得て、改善に取り組んでいる。</p>	○	<p>単なる情報交換にとどまらず、建設的で積極的な意見や要望を出し合い、より双方向的な会議に進展することを期待したい。</p>
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>運営推進会議以外の連携、交流は図れていない。</p>	○	<p>地域密着型サービスの質の向上を図る意味からも、事業所の考え方、運営や現場の実状等を伝える機会を作るなど、行政との関係づくりを積極的に行い、課題解決に共に取り組んでいくことを期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族が訪問しやすく、話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。来訪時には利用者の近況報告を行い、家族との信頼関係が構築できている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>毎月中旬に「ホーム便り」を郵送し、利用者の暮らしぶりやエピソードなどを伝えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。</p> <p>心身の状況に変化があった時は特に留意し、家族との連絡を密にしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>金銭については通帳で管理しており、毎月中旬に通帳残高のコピーを郵送している。支払いの領収書は、年末に一括して家族に手渡している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会は年5回行っており、参加者は多い。家族同志が話しやすい場面づくりを心掛けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 家族からは、職員の異動のことや職員の名前が分からないなどの意見が出ている。出された意見は、ホーム会などでその内容や課題を検討し、改善に向けた取り組みをしている。意見箱の設置はしているが、口頭での相談が多い。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 職員の異動については、家族等からの要望もあり、本年度から、利用者に対してダメージが少ないよう最小限に留めるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 職員の異動については、利用者、家族に事前に連絡し、開所時からの馴染みの職員がカバーすることにより、スムーズに移行できるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 全職員が研修に参加しており、法人本部での研修の機会が特に多い。外部の研修にも、参加できるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修に参加した職員は、研修報告書を提出し、全職員が閲覧できるようにしている。また、ホーム会で報告も行い、内容の共有に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 管理者・職員は、連絡協議会等で知り合った同業者との交流を通じて、ホームの質の向上、改善等に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。</p> <p>入居時に、心身の状況、生活歴、病歴などを聴取し、入居後のケアに活かすようにしている。入居後、新しい情報が入れば追加するなど、利用者の状況把握に留意している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>希望者には自由に見学してもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。</p> <p>入居希望者には、管理者とケアマネジャーが面接している。職員には、入居前に利用者について報告している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。</p> <p>一緒に過ごす中で、利用者のさまざまな思いや能力を理解し、利用者が出来ることを大切に、共に「支え合う」関係作りに留意している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>利用者の「できること」「できそうなこと」は入所時から5年が経過し変化も見られるが、その時々利用者の思いや状況を把握し、共に支えあう関係を築いている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。</p> <p>日本刺繍の得意な人、料理の上手な人、古いことわざが好きな人等、長年培ってきた生活の技や知識を教えてもらうことが多い。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>日々の生活の中で積極的に声をかけ、返事や表情などから、希望や意向の把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>日頃から、家族の要望、職員の気づきを大切に、その人らしさを反映した介護計画を作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>カンファレンスには、利用者と家族も参加し、活発な意見交換をしてプランに反映している。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>基本的に、長期目標は6カ月、短期目標は3カ月で見直し、モニタリングは1カ月に1回行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。</p> <p>利用者の状態や家族の要望などにプランとのずれが生じた時は、その都度検討し見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。</p> <p>協力病院へ職員同伴で受診できる体制にあり、医療処置を受けながら継続してホームで暮らせる取り組みをしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。</p> <p>重度化した場合、利用者、家族の要望を聞きながら、訪問看護により24時間ケアを提供できる体制になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。</p> <p>家族同伴での外出が多いが、緊急な通院などで家族の同伴が困難な場合は、職員が同伴し、柔軟な支援をしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 かかりつけ医については、利用者、家族と話し合い、受診できるよう支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 看取りの指針、マニュアルを作成し、関係者や家族との話し合いも行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 ホームは利用者にとって「家」であり、最期は「ホーム」でと希望する家族に対しては、医療連携体制、訪問看護、往診など必要に応じて活用し、安心して納得した最期を迎えられるよう話し合っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 ホーム会などでプライバシーの保護には十分配慮するよう話し合っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 個人情報マニュアルを作成し、個人情報保護法の理解に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 一人ひとりのその日の体調に合わせて、散歩など「したいこと」を把握し、個別に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 個々の利用者に配慮し、個別の希望を尊重している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。</p> <p>献立は利用者の希望を取り入れて作成し、調理の下ごしらえ、盛り付け、片づけなど一連の流れは、利用者の意志や気持ちを尊重して進めている。殆どの利用者が食後の食器をシンクまで運び、和やかに自然な形で一連の流れが進められている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。</p> <p>介助が必要な数名の利用者を優しく、さりげなく支援し、食事を楽しむ雰囲気づくりを大切にしながら、一緒に同じものを食べている。</p>		
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>入浴拒否の利用者に対しては、職員の交代、入浴時間の変更、言葉掛けの工夫などで対応している。無理な場合は、翌日に変更することもある。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。</p> <p>利用者の経歴や経験などから、個々の利用者の役割や楽しみごとを把握し、支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>それぞれの利用者が経験や能力を活かして、自分の楽しみごとや役割を発揮できる場面づくりを心掛けている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>利用者がしたいことや楽しみにしていることを把握し、それを基に日常の暮らしの中で楽しんだり、役割分担が出来るよう支援している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 日中の散歩は夜間の不眠の解消にもつながると考えており、近辺への散歩は日常的に行っている。法人内の喫茶コーナーへは週1回殆どの利用者が行き、法人の車でスーパーへ買い物に出かける人も多い。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的にやっている。 現在は、車椅子利用者は1人であるが、他の利用者と一緒に外出している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 散歩は日常的に行い、食材の買い出しや個人の好みの買い物にも職員同伴で出かけ、四季折々にドライブにも行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 職員は利用者の外出習慣を把握しており、外出傾向のある人にはさりげなく付き添い、見守りながら支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 散歩の時や「いきいき百歳体操」に出かけた時などに近所の人と挨拶を交わすなど、日頃から交流を深めるようにしている。過去に近所の人が、「見たことのある人が居る。」と言って連絡をしてくれたことがあり、地域住民との関係づくりを大切にしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 事業所の避難訓練は年2回行っている。訓練への参加を「ちらし」で呼びかけており、少ないながらも地域住民も参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。		職員だけの誘導には限界があるため、消防署や地域住民との連携を図り、ホームの災害時対策に関して理解を求めつつ、更なる地域との協力体制を築くことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>栄養摂取量と水分量は、チェック表で把握している。繊維質を多く含む食品と水分の摂取については、「便通」の面からも常に留意している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>一人ひとりの嗜好を把握し、四季の物も採り入れ、咀嚼が困難な人にはミキサー食にするなど、栄養バランスを考えながら個別の対応にも配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>法人の栄養士が定期的にチェックしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>居間と台所が続いており、食事の準備を始めるとおかずや炊き立てのご飯の香りが漂い、家庭の居間を思わせる、居心地が良い、安心して過ごせる場所となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>利用者と一緒に作った作品が家庭的な雰囲気を醸し出している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>玄関や居間には季節の花を掛け、壁には季節の絵手紙を飾り、四季を味わい、くつろぎ、安らぎのある暮らしができるよう配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。</p> <p>本人が使っていたものを中心に馴染みの家具に囲まれ、居心地良く、家庭の延長を思わせる工夫をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。</p> <p>ほとんどの利用者が家族の協力を得られている。職員は、本人の意向を確認しながら、話し合い、温かみのある部屋になるように努力している。</p>		